



本コーナー最終回は大室公園です。古墳などの歴史環境を生かした公園で、36・9 畝の広さがあります。
芝生敷きの広場がある公園東側は、じゃぶじゃぶ池や数多くの大型遊具などもあり、子どもたちに人気のスポット。休日には大勢の家族連れが訪れます。
公園北側は、風のモニュメントを中心とした風のわたる丘が広がっています。風が吹くとモニュメントから涼やかですてきな音が聞こえてきます。ぜひ、耳を

歴史と音が楽しめる公園

前橋ウォーカー
Maebashi Walker

大室公園



埴輪や土器がお出迎え

澄まして聞いてみてください。

西へ進むと、水の滴る音を楽しむことができる水琴窟があります。かつての石切り場を活用したこの場所は、木々に囲まれていて暑い日差しを避けるには最適。木陰を吹き抜けるそよ風と水の音は暑さを忘れさせてくれます。

公園西側は、園内最大を誇る中二子古墳をはじめとした古墳群があります。古墳の上には埴輪や土器がずらり。まるで古代の風景そのままのようです。

さらに西に向かうと、かつての養蚕農家の住居を移築したかやぶき屋根の民家園があります。昔懐かしい雰囲気のある縁側で一休みすると、心がきつと和むことでしょう。

広場で遊ぶもよし、古代に思いをはせるのもよし。大室公園をのんびり楽しんでみませんか。



昔懐かしい民家園

消費者のためのチーズ職人になりたい



初の前橋産チーズ作りに挑戦

松島 俊樹さん 35歳
粕川町中之沢



18歳の時に目標にしたチーズ職人への道。北海道出身で10年前に妻の実家がある本市に引っ越してきた。夫婦で酪農を営みながら、今も変わらずチーズ作りの夢を追い続けている。

「ものづくりが好きで、作り手の個性が出るチーズ作りに興味を持ちました。おいしいチーズを作るためには、よいミルクが生産できる一流の酪農家にならないと。どんな工程も手を抜けないですね」
まずはモzzarellaに取り組み、いずれは成熟期間を必要とするカマンベールにも挑戦する予定だ。

「自然豊かで静かな中之沢に魅かれて家を建てました。去年から牛舎も作っています。まだまだこれからです」
消防団に入るなど地域のひととの交流や

地域貢献活動を大切にしている。

「地域の行事に積極的に参加することで、周りの人が応援してくれるようになりました。自分だけの夢と思っていたチーズ作りが、今はみんなの夢という気持ちになっています。情熱を持ち続けてよかったです」

妻と3人の子どもの5人暮らし。一緒にいる時間が安らぎをくれるという。

「夢を追い続けることができるのは家族のサポートのおかげです。大変なこともありますが、家族の存在が全力で仕事に取り組み原動力になっています」

消費者のためのチーズ職人を目指してこつこつと頑張る毎日。熱い思いが形になれば、食べた人が笑顔になるおいしいチーズがきっと誕生するだろう。



夏の夜空を彩る大輪の花々

大渡橋周辺で8月11日、前橋花火大会を開催。約1万3,000発の花火が夏の夜空を彩りました。会場にはキッチンカーなど多数の飲食店が出店。訪れた人たちはおいしい料理に舌鼓を打ちながら、光の花々に見とれていました。



ドームの舞台裏を探検

8月19日、グリーンドーム前橋でドーム探検隊を開催しました。普段は観客が入ることのできないエリアを係員が案内するこの催しに41人が参加。次々と繰り広げられる迫力満点のレースを間近で見た参加者たちは、競輪の醍醐味を感じていました。



平和の大切さを再認識

8月7日から15日まで、市役所で前橋空襲とミニミニ原爆展を開催。戦争の悲惨さを再認識し、争いのない平和な世界について考えるために毎年行っています。訪れた人たちは、当時の様子が分かる写真や資料に足を止め、熱心に見入っていました。



敷島公園で夏の楽しい思い出

8月19日、敷島公園でホリデーインまえばしが行われ、親子連れなど多くの人たちが集まりました。厳しい残暑の中、さまざまな団体が参加して夏休みの楽しい思い出づくりを応援。木陰の風が吹く松林の中では、子どもたちが綱渡りに挑戦していました。